

# 高齢期の「不安」を解消する

## — いま知っておくべき — 最新・シニア向け住宅事情

将来の介護を誰が担うのか、その費用をどうまかうのか、家の維持管理をどうするか。年齢を重ねるにつれ、安心して暮らし続けるための現実的な問題が出てくる。未来への不安を解消するために、高齢期に備えた居場所づくりを考える。

「元 護のことは考え

にくいもの。実際には、

家族

の負担に加えて、費用

の問題も生じる。「要介

護度3以上になれば、必

要なケアだけで、介護保

険の限度額を超えてしま

います。追加費用を負担

できなければ、ケアプラ

ンを削らざるを得ない。

結果的に、生活の質が落

ちてしまいます」と田村

氏は懸念する。

しかし、介護が必要になつても、すぐに居場所を見つけるのは難しい。特別養護老人ホーム(特養)は待機者が全国で五十万人とも推計されています。要介護認定を受けた高齢者は増えているのに、特養や老健などの新規建設は抑制されているため、その数が不足しているのです。

在宅介護を利用するといふ選択肢もあるが、家

高齢期に安心して暮らせる住まい、家族が健やかに暮らせる場所がほしい。そんな人たちの受け皿となるのが、二〇一一年十月から登録が始まつたサービス付き高齢者向け住宅(サ付)や、必要な介護を受けながら生活できる有料老人ホームだ。「サ付は大阪や関東一都三県などの都市部を中心に急速に普及していくます。施設数は制度開始から二年で十三万戸に達しました。施設数は制度開始から二年で十三万戸に達します。

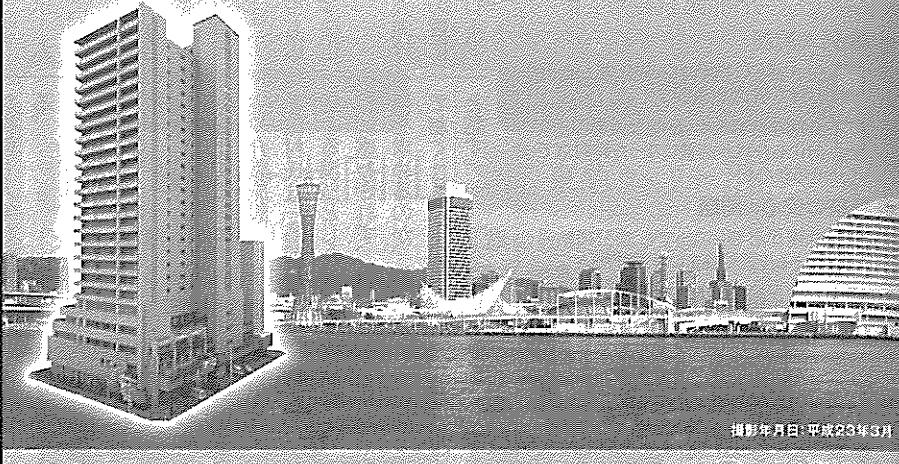
### 主なシニア向け住宅や介護施設

区分	名 称	概 要	入居要件			
			自立	要介護	入居時年齢	入居時の費用
民 間	サービス付き高齢者向け住宅	居室の広さや設備、バリアフリーなどの条件を備え、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを受けられる住宅。	● (※)	● (※)	60歳以上	敷金、一部賃貸等の前払い金。
	介護付有料老人ホーム	事業者が介護保険サービスを提供する有料老人ホーム。入居時条件は自立から要介護まで幅広い。	● (※)	● (※)	特になし (※)	0~数千万円
	住宅型有料老人ホーム	食事などの生活支援サービスが付く有料老人ホーム。入居者が外部の訪問介護サービスなどを利用する。	● (※)	● (※)	特になし (※)	0~数千万円
公 営	特別養護老人ホーム	生活全般にわたって介護サービスが提供される公的福祉施設。数年の待機が必要な場合も、4人部屋などもある。	✗	要介護度1以上	65歳以上	不要

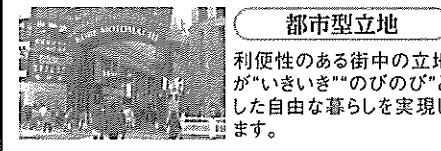
(※)入居要件は施設ごとに異なる

## 憧れの神戸・海岸通に暮らす。

—自由・感動・安心のある生活—



介護付有料老人ホーム エレガリオ神戸



都市型立地

利便性のある街中の立地が“いきいき”“のびのび”とした自由な暮らしを実現します。



こだわりの食事

ダイニングは自社運営。調理師と管理栄養士による、栄養バランスに配慮したお食事を日々ご賞味いただけます。



四季折々のイベント

コンサートや社交ダンスなど、イベントやサークル活動も充実。刺激を感じる毎日をお過ごしください。



介護・看護

手厚い職員体制で、安心の“介護・看護・リハビリ”をご提供。同一建物内にはクリニック(テナント)も併設。

お問い合わせ・見学の 通話料無料  
ご予約・資料請求は 受付時間／9:00～17:00 0120-82-7700

特集ページ末の資料請求ハガキでも受け付けております。エレガリオ神戸 検索

株式会社ユーキャン・ライフパートナー 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-2-38

[神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による類型及び表示事項] ■類型：介護付有料老人ホーム■居住の権利形態：利用料方式■利用料の支払い方式：一時金方式■入居条件：入居時自立・要支援・要介護■介護保険：神戸市指定介護保険特定施設(一般型特定施設)■介護にかかる職員体制：1.5:1以上■介護居室区分：全室個室(一般居室121室・介護居室92室)○住所：神戸市中央区海岸通6丁目2番14号○土地・建物：自社所有○事業主体：株式会社ユーキャン・ライフパートナー

ました」と田村氏は話す。

また、有料老人ホームにも変化が生じている。

「かつては入居一時金としてまとまった費用が必要とされていましたが、近年は入居一時金ゼロ円の物件が登場したほか、月額利用料の価格帯も広がり、サービスも多様化しています」。

元気で自立した人向けに、住環境や食事の質にこだわったハイグレード

な物件も人気を呼んでいます。

名前のイメージに惑わされない

ニーズに応じて複数、多様化するシニア向け住

宅や介護施設。だからこそ田村氏は「名前から連

想する漠然としたイメージに惑わされず、自分が何を求めるのか、整理しておることが大事です」

●住まいの問題

- 今の住まいの掃除や修繕、庭の手入れが大変になってきた
- アパート・マンションに住んでいるが、足が弱って階段の上り降りが大変

●暮らしの問題

- 一人暮らしで、倒れた時に誰かが見つけてくれるか不安
- 介護が必要な夫(妻)と二人暮らし。自分にも介護が必要になった時対応できるか心配

●将来の安心の問題

- 介護が必要になっても、自分の納得できる施設や住まいを選びたい
- 家族が困らないよう介護を受けられる準備をしたい

## 東急電鉄が経営母体の駅近シニア住宅

これからも愛される沿線であるためにー。

東急電鉄では「シニアに安心・安全な街づくり」を進めています。

介護付有料老人ホーム  
(特定施設入居者生活介護指定)

介護サービス付シニアアレンジメント  
(特定施設入居者生活介護指定)

### 東急ウェリナ 大岡山

「大岡山」駅から徒歩1分。  
大岡山駅と東急病院に向かいあい、  
大浴場などの共用部も充実。



料金プラン例(1LDKタイプ)

専有面積 <sup>※1</sup>	57.11m <sup>2</sup>
入居金(一時金方式) (入居時80歳の場合) <sup>※2</sup>	6,720万円
月額利用料 (お1人で入居された場合) <sup>※3</sup>	236,250円

※1 他タイプ52.83m<sup>2</sup>~153.61m<sup>2</sup>もございます。  
※2 入居金の支払い方式には、月払い方式もございます。  
※3 喫食分の食費、水道光熱費等は別途

### 東急ウェリナ 旗の台

「旗の台」駅から徒歩2分。  
单身者専用の全71室に、お一人暮らしに安心のサポートが備わります。



料金プラン例(1Rタイプ)

専有面積 <sup>※1</sup>	44.50m <sup>2</sup>
前払い家賃 (入居時80歳の場合) <sup>※2</sup>	3,690万円
月額利用料 <sup>※3</sup>	199,500円

※1 他タイプ37.56m<sup>2</sup>~52.58m<sup>2</sup>もございます。  
※2 家賃の支払い方式には、月払い方式もございます。  
※3 喫食分の食費、水道光熱費等は別途  
※4 入居時に別途、敷金が必要となります。

内覧のお申込み・お問い合わせ・資料請求は

0120-51-7201 受付時間 10:00~17:30  
<http://www.tokyu-welina.jp>

東急グループ

【東急ウェリナ大岡山】●類型／介護付有料老人ホーム●権利形態／利用権方式●介護に関する職員体制／1.5割以上(准看護師)●【東急ウェリナ旗の台】●類型／サービス付高齢者向け住宅●賃料形態／既存建物賃貸借契約(2階貸付)●介護保険／東京都指定介護保険特待施設(一般型)●入居条件／入居時自立・要支援・要介護●運営・管理／東急電鉄株式会社●東急ウェリナスル(東急電鉄和田の山ビル)TEL 03-6511-9631●東京都渋谷区渋谷平台町6-6 TEL 03-3477-9638

## 高齢期の住み替えを検討するタイミング

●住まいの問題

- 今の住まいの掃除や修繕、庭の手入れが大変になってきた
- アパート・マンションに住んでいるが、足が弱って階段の上り降りが大変

●暮らしの問題

- 一人暮らしで、倒れた時に誰かが見つけてくれるか不安
- 介護が必要な夫(妻)と二人暮らし。自分にも介護が必要になった時対応できるか心配

●将来の安心の問題

- 介護が必要になっても、自分の納得できる施設や住まいを選びたい
- 家族が困らないよう介護を受けられる準備をしたい

「サ付は『住宅だからプライバシー』が守られる上に、サービスも付いて安心感と生活相談のみ。夜間職員の配置や医療連携の方などは千差万別です」。有料老人ホーム選びでも、同じことが言える。「介護付」と銘打たれていれば安心か、と言えばそうとは限らない。「安心したケアのために、職員の人員配置は入居者二・五人につき一人は欲しいですね。特に大事なのが、認知症のケアです。BPSD(徘徊や暴言などの症状)などに対応するには、認知症の発症メカニズムなどを理解した専門的な職員が必要ですが、対応できる施設はま

だ限定的。どんな資格を持った職員がいて、どんな介護や看護が受けられるのかを理解しておかなければ、退去に発展するトラブルが起きかねません。もう一つ、高齢期に避難のあり方だ。「病院ではなく、自宅で亡くなりたいと望む声が多数を占めています。シニア向け住宅でその希望をいかに叶えるのかも重要なテーマです。看取りには、在宅療養支援診療所の登録を受けた医療機関との連携が必要。施設選びでは、看取り対応も見定めておきたいですね」。

## 第三者からの助言を求める

「将来に備えた住まいを探すなら、七十五歳を自安に。それ以上年齢を重ねると、自力で暮らすのも大変になってしまいます。自立生活を続けられるかをよく検討した上で、まずはお近くの施設を見学し、その目で暮らしぶりを確かめてください」現地に出向き、具体的なイメージをつかんでみる。それが、シニアライフ設計の第一歩になりそうだ。